

令和3年度法人本部事業報告書

(1) 総括 基本並びに重点方針に係る取り組み

① 感染症対策について

事業運営の「安全・安心」を脅かす感染症について、新型コロナウイルス感染症に対する衛生管理体制は感染症対策委員会を中核機関として随時、必要に応じて委員会を招集、対策にあたった。

職員の出勤前検温や手指消毒、マスク着用を基本対策としつつも通所介護利用者の感染や職員の家庭内感染があったが、事業所の一定期間にわたる休業や出勤見合わせ、ご利用者の自宅観察等をきめ細かく実施したことなどから施設内でクラスターを発生させることなく推移した。

インフルエンザについてはこれらの基本対策が功を奏し、1名たりとも罹患することなく現在まで至っている。

② 介護・看護人材不足について

標題に係る多角的アプローチについては、労働環境を改善・整備するべく次の改正を行った。これらにより離職率は低位に止まらせることができた。

1. 子育て世代の昇給幅を多くした給与表に改正
2. 常勤職員・パート職員とも実働時間を視野に、特別昇給を1年間にわたり月額4,000円実施
3. 高年齢層に係る昇給停止の見直し
4. 現状に即した年次有給休暇取得に係る見直し
5. 国による処遇改善給付金の100%導入・活用

③ 利用者受け入れ制限について

特別養護老人ホームとショートステイサービスの利用者受け入れ制限について、令和3年度中に解消することができなかつたため、年度末に事業の見直しに着手することとし、令和4年度早期に定員に即した運営に復帰することで準備を進めている。

④ DX＝デジタルトランスフォーメーションについて

大分県ICT導入支援事業の認可を受け、昨年からは準備を進めてきたインターネット及び施設内Wi-Fi環境を全施設で整備できた。また、これに伴いご利用者のバイタル計測を電子無線化することができた。今後も、ベッドセンサー感知装置など労働不可軽減のためICTの導入を着実に進めていく計画である。

⑤ 選択される施設を目指して

法人主催の職員研修については、新型コロナウイルスの感染終

息が不透明な状況が続いており、開催中止を余儀なくされている。書面開催を続けているが、Webを利用した展開を検討していきたい。

また、外部研修についてはZoomを活用した「WEB会議システム」を続けることにより研修会に参加し、資質の向上に努めている。一層の活用を推進したい。

また、運営理念「差し伸べる その手その声 その笑顔」は、唱和・周知を続けてその徹底に努めて人材育成を図ってきたが、新型コロナウイルス感染予防のため集会禁止となり中断のやむなきに至っている。早期に原状に復す状況を期待している。

外国人介護技能実習生については、令和3年度中に受け入れることで法務省出入国在留管理庁と調整できていたが、これも新型コロナウイルスに係る国の水際対策の影響を受けて入国禁止となり、令和4年5月9日にインドネシア国から看護師・助産師有資格者を2名受け入れることができた。

(2) 令和3年度事業所別の利用状況について

詳細は、添付別紙「直近3年間の利用人員対比表」参照。全体を俯瞰した分析も併せて記載している。

全体としてコロナ禍の最中であって、事業運営の厳しさが増している。よって、各事業の見直しが急務であり以下に取り組むこととしたい。

- 1) 各事業の管理者に自事業の収支を毎月伝え、事業枠について意識してもらう取り組みを強化することとし、とりわけ収支に直結する利用者数の確保については、数的データを以て常に意識化することを日常化する。
- 2) 人材育成を目的に、管理者以外の若い世代を登用し役割を与えることで組織の活性化を図ると共に、適正な職員配置と職員の新採用に道筋を作っていく。
- 3) 法人運営の協議の場として、居住部門と居宅部門をブロック化し打ち合わせ会議を行って、共通認識を持って事業運営の適正化を図っていく。

(3) 専門委員会組織とその活動について

各専門委員会の令和3年度事業報告は添付別紙の通り。

直近3年間の事業所別延べ利用人員対比表(令和1～令和3年度)

社会福祉法人愛泉会

事業所名	延べ利用人員 (人)			対前年度比	対前年度比伸び率 (%)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減	
特別養護老人ホーム	28,651	27,696	25,943	△ 1,753	特養+短期
短期入所	1,913	1,191	0	△ 1,191	-10.2%
通所1課(情和園デイ)	9,451	8,958	8,996	38	0.4%
〃 サテライト青春塾	3,971	3,886	3,594	△ 292	-7.5%
2課(ハッピー)	2,638	2,669	2,162	△ 507	-19.0%
3課(みもぞ)	7,150	7,291	6,922	△ 369	-5.1%
訪問看護	1,956	2,363	2,518	155	6.6%
居宅介護支援	2,209	2,129	2,016	△ 113	-5.3%
(有料)アットホームいずみ	9,638	9,167	8,776	△ 391	-4.3%
(合計)	67,577	65,350	60,927	△ 4,423	-6.8%
在宅介護支援センター					
実態把握(まちかど相談所含む)	104	100	感染予防休止	-	-
緊急通報(登録者数)	9	9	7	△ 2	-22.2%
お元気コール	118	89	96	7	7.9%
ハッピーいきいき塾 (回数)	1	1	感染予防休止	-	-
(人数)	19	19	感染予防休止	-	-
(合計)	251	218	103	△ 115	-52.8%

「分析」

法人全体の中核施設である特別養護老人ホームは、令和3年2月から介護職員の確保難によりショートステイと共に1ユニット休止のやむなきに至り、前年比10.2%の減少となった。令和4年度早期に事業の見直しによって利用者数の回復がなされる予定である。

居宅サービス部門は新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、感染拡大防止のため一定期間休業するなど全体的に5%程度の減少となった。こうした中で、在宅生活をおくるご利用者からニーズの多い訪問看護は6%を超える伸び、通所1課はほぼ前年比横ばいのご利用者を確保できた。